

令和2年度第2回小平市社会教育委員の会議要録

と き：令和2年6月18日（木）午前9時30分から10時50分

ところ：市役所6階 大会議室

1 出席者

小平市社会教育委員 10名

傍聴者 なし（新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため）

2 内 容

<議題>

資料に基づき、事務局から説明を行った。

(1) 令和2年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会書面による決議（報告）

(3) 令和2年度 第51回関東甲信越静社会教育研究大会新潟大会

<事務局報告>

各課・各館より、実施事業等について報告した。

【地域学習支援課】

(1) 小平地域教育サポート・ネット事業実施要綱等の一部改正について

【教育部】

(1) 新型コロナウイルス対応関連（報告）

<その他>

民法改正後（令和4年（2022年）4月1日以降）の成人式対象年齢について事務局より説明した。

3 議題及び事務局報告についての意見・質疑応答

<事務局報告>

○小平地域教育サポート・ネット事業実施要綱等の一部改正について

委員 統括コーディネーターは社会教育に明るい職員をぜひ充てていただきたい。

事務局 統括コーディネーターは地域学校協働活動を担当する職員が担っている。東京都が開催する研修を年に3回受け、スキルアップを図っている。

○新型コロナウイルス対応関連について

委員 公民館のロビーで座るところが全部撤去されて、ちょっとした打ち合わせをできる場所がない。ちょっとしたことができなくなっている。何か考えるようなことも必要があるのではないかと思う。

人が密集することを避けるという意味でも、図書館のWEB予約をもう少し周知してほしい。

図書館、公民館とも混雑のピーク時間があると思うので、何かしらの形でお知らせをすることを検討してほしい。

事務局 公民館のロビーは現在、不特定多数の方が長時間滞在することを防ぐため机、椅子を片付けた状況になっているが、どなたでも使える場所は重要であると考えている。東京都の休業緩和がステップ3に達したので、今後ロビーの利用について検討していく。

現在、公民館では利用制限のため、利用する団体が減っている状況にある。今後、活動を少しずつ広めていくなかで様子を見ながら、必要な場合は入口に混雑状況の表示をするなど、検討していきたい。

事務局 図書館を開館して、最初の24時間で過去にないほどの予約申し込み件数があった。今後もWEB予約については広報していきたいと考える。

図書館ではピーク時間を開館直後の10時から11時半ごろ、閉館間際の5時台と想定している。その時間帯、土日は混み合うので避けてほしいという呼びかけをホームページで行っている

今後も、適宜新しい情報をつかみながらお知らせをしていきたいと考えている。

委員 大学では図書館のネット上での配信をしている。小平市でも何かそういった取り組み、あるいは検討をしているのか。

事務局 大学図書館ではいろいろな取り組みをしていると聞いているが、公共図書館は電子関係では大学図書館に追いついていないと考える。今後、システムが発展できる状況もあろうかと思うので、状況を見ながら検討していく。

利用の緩和を進めていくなかで、参考室を開放していくことや、もう少し長い時間地域資料が閲覧できるよう取り組んでいきたい。

委員 公民館のホール、実習室は当面使用不可となっているが、窓がないところはわかるが、広い部屋を空けておくのはもったいないと思う。広い部屋に代えれば再開できるサークルもあると思う。

図書館は今回の経験を踏まえ、いろいろ検討してほしい。宅配などは費用もかかるが何か工夫してほしい。

事務局 今の段階では、需要に対して供給が間に合っていない状況ではなく、ある程度必要に応じた形で使っていただいていると考えている。

実習室については、調理等の飲食を伴うものは飛沫感染の防止ということもあり、貸し出していない。そういった目的によるものであるとご承知いただきたい。

事務局 小平市の場合、図書館の数が多いため、予約をWEBで行って、図書館の窓口で予約図書をお渡しすることに注力していきたいと考える。

委員 前回の第1回の会議は、社会教育団体に対する補助金交付があったため、会議が開催されたが、WEBでの会議も会議と見なされるのか。

事務局 補助金の交付については、議案として取り扱うものであり、WEB会議では賛否を問うという形はとれないという判断のもので、開催せざるを得なかったという状況であった。今後、こういった状況になったときの会議のありように関しては状況を見ながらの検討になってくると考える。

委員 緊急事態宣言の解除を受けて、5月27日に6月4日分の公民館予約をした。6月1日から開館するものと思っていたが、6月9日から開館とのことで、利用

できなかった。システム上で何かトラブルがあったのか。

事務局 国の緊急事態宣言がいつ解除になるかわからなく、解除となればすぐに利用できる状態にしておくため、休館期間中も予約受付を止めることはしなかった。そのため、臨時休館中も休館延長のたびに予約した方にはお断りの連絡をしていた。6月から再開ということになり開館準備期間として約1週間設け、6月9日開館としたため、今回利用できない状況となった。今後はこのようなタイムラグが生じないように対応をしていく。

委員 青少対活動で事業ができないことでのストレスを感じている。事業をやることも大変だが、やらないことがこんなにも大変だと改めて感じている。学校の状況や、他地区での活動状況など情報提供をしてもらうことで、ストレスの軽減につながると思う。

小平町との少年少女交歓交流事業が中止になったことで昨年参加した子どもたちへのフォローを十分にしてほしい。

事務局 青少対については、今後も情報提供を続けていく。

小平町事業については、中止の案内と併せて、昨年参加した小平町の子どもたちにお世話になったことなどへの感謝として、何かお礼ができないかと考えていることを案内している。今後のコロナの状況にもよるが対応を検討していく。

<その他>

委員 鈴木遺跡が社会教育の分野から外れたことは承知している。小平八小にある八小遺跡が看板も壊れてなくなり、草も生えた状態になっているが、どこに伝えればよいのか。

事務局 現在、文化財の保護は文化スポーツ課が所管しているので、担当課に申し伝えることとする。